

令和5年度 第1回瀬戸市地域公共交通会議 会議録

開催日時	令和5年6月26日（月） 午前10時から正午まで				
開催場所	瀬戸市役所 東庁舎4階 大会議室				
出席委員	21名	欠席委員	2名	傍聴者	3名
会議概要	<p>(事務局) 本会議は、昨年度末をもって委員の任期が満了し、今年度から新たな任期となりますので、皆様におきましては様々なご意見を賜りますようお願い申し上げます。 まず、議事に入る前に役員を選出を行います。</p> <p>1 瀬戸市地域公共交通会議役員選出 【会長の選出について】 (瀬戸市自治連合会) 会長について、公共交通は地域のまちづくりにとって重要な案件であり、市政を担う瀬戸市長に就任をお願いしてはどうかと考えますが、いかがでしょうか。</p> <p>採決 <全会一致で承認></p> <p>【議長の選出について】 (瀬戸自動車運送株式会社) これまで地域公共交通会議の議長として参加していただいております、公共交通に対する幅広い知識をお持ちであるため、引き続き中部大学の磯部教授をお願いしてはどうかと思っております、いかがでしょうか。</p> <p>採決 <全会一致で承認></p> <p>【副議長の選出について】 (議長) これまで地域公共交通会議に副議長として参加していただいております、第6次瀬戸市総合計画審議会の会長も務められております南山大学の石川教授に引き続きお願いしたいと思います。いかがでしょうか。</p> <p>採決 <全会一致で承認></p> <p>【監事の指名について】 (事務局) 監事につきましては、瀬戸市地域公共交通会議設置要綱第5条第3項の規定により、会長が指名することとなっておりますが、後日、会長であります市長から指名していただき、皆様に監事指名の通知をお送りさせていただくこととしたいと思います。どうぞよろしく申し上げます。 それでは、議長と役員を選出を終わります。</p> <p>2 会長あいさつ</p>				

(事務局)

会長に選出された市長は本日欠席でございますので、申し訳ありませんが、次に進ませていただきます。

3 議長あいさつ

(議長)

また議長を務めさせていただきます。よろしくお願ひします。

世間では、いわゆるコロナ明けにより動きが活発化しておりますが、地域交通については課題が増えておりまして特に供給側である運転手の労働時間の規制が厳しくなることが大きいと感じております。そのような状況下であっても地域交通は生活に必要なものでありますので、本日もよりよい公共交通に向けて議論していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

まずは、運輸支局さんより配布資料について説明をお願ひします。

4 議事

議事に入る前に国土交通省中部運輸局愛知運輸支局より資料について説明。要点は以下のとおり

(国土交通省 中部運輸局 愛知運輸支局)

- ・全国の公共交通の利用者が減少し続けており、路線の縮小・廃止が問題となっている
- ・公共交通会議は、よりよい公共交通の実現のため市町村や様々な立場の委員の皆様が協議をするものなので活発な議論のためにもそれぞれの立場から積極的に発言してもらえればと思う

(議長)

皆様からご質問はありますか。

質問がないようですので、続きまして議事について事務局より説明をお願ひします。

(1) 報告事項 令和4年度事業報告について

別紙資料1に従って事務局から説明

(質疑応答)

(議長)

ご説明いただきました内容について、何か皆様からご質問等がございましたらお受けしますが、いかがでしょうか。

(公募市民)

3点質問させていただきます。資料の1ページに「多極ネットワーク型コンパクト構造」を目指しておりますが、具体的にどのようなものなのでしょうか。

2点目は、目標で「持続可能な公共交通の確保」を挙げられていますが、費用面での持続可能という意味でしょうか。

3点目は、利用者数は回復しているのに市の負担金が増加している理由を確認させていただきます。

(議長)

事務局から説明をお願いします。

(事務局)

まず、「多極ネットワーク型コンパクト構造」についてですが、それぞれコンパクトにまとめた地域をネットワークで結び、多極的なまちづくりを行っていくものです。

2点目の「持続可能な公共交通の確保」についてですが、費用面のほか人員の確保及びサービス面の維持の意味合いも含めたものとなります。

3点目の利用者数が回復しているのに市の負担金が増加していることについては、燃料費の高騰及び人件費の高騰によって運賃収入の増加より運行経費が増加したことによって合計の市の負担金が増加しているものとなります。

(公募市民)

承知しました。もう一点確認があります。

にじの丘学園のバスの乗り方教室については、秋に実施されていますが、入学当初の春には実施されていますでしょうか。

(事務局)

春先は事務局及び学校の都合もあり、実施できておりません。

(公募市民)

承知しました。

(議長)

よろしいでしょうか。

こちらは報告事項ですので次に進ませていただきます。

- (2) 協議事項 令和4年度瀬戸市地域公共交通会議決算について
別紙資料2に従って事務局から説明

(質疑応答)

(議長)

ご説明いただきました内容について、何か皆様からご質問等がございましたらお受けしますが、いかがでしょうか。

(公募市民)

公共交通マップ作成等とありますが、公共交通マップ以外にはどのようなことを行ったのでしょうか。

また、作成した公共交通マップはどのような場所で配布しているのでしょうか。

(議長)

事務局、説明をお願いします。

(事務局)

公共交通マップ等についてですが、昨年度まで古くなって放置されていたバス停がありましたので、そちらを処分したものが計上されています。

また、公共交通マップの配布ですが、市役所をはじめ各支所、サービスセンター以外にも陶生病院などの主要な施設に設置させていただいております。

(議長)

ちなみに公共交通マップは何部作成し、どの程度市民の方に配布されたのでしょうか。

(事務局)

令和4年度については、A2版及びポケットサイズの時刻表を3500部作成しました。そして、ほとんどがすでに配布済みとなっております。

(議長)

他に意見はございますか。

では、監査報告をお願いします。

(瀬戸市障害者団体連絡協議会)

瀬戸市地域公共交通会議財務規程第9条第2項に基づき、水野委員と監査を実施し、令和4年度瀬戸市地域公共交通会議の収支決算については、いずれも適正に執行されたことをご報告申し上げます。

以上です。

(議長)

他はいかがでしょうか。

この件について、特にご意見がなければ、原案のとおり可としてよろしいでしょうか。

採決 <全会一致で承認>

(3) 協議事項 生活交通確保維持改善計画について

別紙資料3に従って事務局から説明

(質疑応答)

(議長)

ご説明いただきました内容について、何か皆様からご質問等がございましたらお受けしますが、いかがでしょうか。

(公募市民)

バスの乗り方教室を行った際の成果や課題があれば教えてください。

(事務局)

従来のバスの乗り方教室は、バス停の見方やICカードを使ったバスの乗り方の体験を行っていましたが、令和4年度については、瀬戸警察署様にも協力してもら

い、交通安全に関する学習も追加した結果、担任の先生からはご好評をいただくことができました。

(議長)

令和4年度については、安全面の学習についても追加していただいたとのことでした。バスの利用促進に繋がっていけばと思います。他はいかがでしょうか。

(瀬戸市小中学校PTA連絡協議会)

バスの乗り方教室については、にじの丘学園と下品野小学校以外では、実施予定はないのでしょうか。成長していくにつれてバスを使う機会は増えていくため他の小学校でもぜひ取り組んでいただけるとありがたいです。

(事務局)

バスの乗り方教室については、下品野小学校のみで実施していたものを通学利用が多いにじの丘学園でも昨年度から追加しております。現状は新たな実施予定はありませんが、機会があれば検討していきたいと考えております。

(議長)

バスの乗り方教室には、学校や警察など関係者がたくさんいますが、調整が取れば対象を増やすことは可能だと思いますので、今後検討していただければと思います。

では、本案については、こちらの内容で議決し、運輸支局様へ提出する流れになると思いますが、運輸支局様から意見はございますでしょうか。

(国土交通省 中部運輸局 愛知運輸支局)

こちらの申請の担当と調整していただいているので、特に意見はございません。

(議長)

では、この件について、他に特にご意見がなければ、原案のとおり可としてよろしいでしょうか。

採決 <全会一致で承認>

(4) 報告事項 地域間幹線系統確保維持計画について

別紙資料4に従って事務局から説明

(質疑応答)

(議長)

ご説明いただきました内容について、何か皆様からご質問等がございましたらお受けしますが、いかがでしょうか。

(公募市民)

利用者数の目標を達成するためには、周辺地域の高齢化率などの人口動態を把握し、利用者のターゲットを絞っていく必要があるかと思いますが、事業者様としてはどのような方針なのでしょうか。

(名鉄バス株式会社)

本日この件についての回答を持ち合わせておりませんので、確認できましたら後日報告させていただきます。

(議長)

詳細な数字の把握は難しいと思いますが、また分かりましたら報告いただければと思います。

(副議長)

利用促進策で路線マップの配布となっていますが、瀬戸市の公共交通マップを指しているということによろしかったでしょうか。

(事務局)

名鉄バス様で作成いただいているマップが別であり、そちらを指しております。

(副議長)

承知しました。瀬戸市の公共交通マップでは、当該路線についての記載は愛知医大までしかなく、尾張瀬戸駅から藤が丘駅までバスで行けることを知らない人が意外に多いため次回以降のマップの更新の際には、広域的にどこまで行くことができるのか記載いただけると良いと思います。

(愛知県バス協会)

補足となりますが、生活交通確保計画については、名鉄バスの自主路線であっても事業者が情報を公開し、各沿線市が当該路線について必要としている前提の中で計画を作成するものであったと思います。

(議長)

他にご意見がありましたら先にお伝えいただければと思います。

(瀬戸市小中学校PTA連絡協議会)

公共交通に関するマップが分かると理解しづらくなってしまいうため、地理の分からない市外の人でも利用しやすいように様々な路線の情報がまとまったマップを作成いただけるよう意識して作成してもらえればと思います。

(議長)

今出た意見について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

生活交通確保計画については、実務上名鉄バス様に情報を提供いただき、特に後半の取り組み等について沿線市で記載させていただいております。

あくまで計画の主体は沿線市であり、必要な路線ですので取りまとめたものを愛知県へ提出しているものとなります。

また、マップの作成については、いただいた意見を参考に分かりやすくなるよう次回以降努めたいと思います。

(議長)

何か他にご意見はありますでしょうか。
こちらは報告事項ですので次に進ませていただきます。

- (5) 協議事項 市内基幹バス及びコミュニティバスのバス停移設について
別紙資料5に従って事務局から説明

(質疑応答)

(議長)

ご説明いただきました内容について、何か皆様からご質問等がございましたらお受けしますが、いかがでしょうか。

(公募市民)

中には上り下りのうち片方の方面にしかバス停がない場合もありますが、「品野」バス停については、上り下りそれぞれバス停が設置されておりますでしょうか。

(事務局)

「品野」バス停については、上り下りともにバス停があります。

(議長)

資料5-2-1の中で上り・下りと記されているバス停もあるため、具体的にどのような順で運行しているか確認させてください。

(事務局)

「品野」バス停は上り・下りそれぞれ2回経由するため分かりにくくなってしまっております。

まず、上りは、上品野方面から新瀬戸駅方面の運行となり、西側にある「品野」バス停を通った後にしなのバスセンターを経由し、国道248号線を南進し、もう一つの「品野」バス停へ停車します。

また、下りは、新瀬戸駅方面から上品野方面へ運行するものですが、国道248号線を北進し、しなのバスセンターを経由するためにまず南側にある「品野」（上り・下り）を通り、その後北側にある今回移設予定の「品野」（下り）へ停車するものです。

(議長)

「品野」バス停を複数回通ることから複雑な運行方法になっているように感じるため現地に分かりやすい案内があると良いと思います。他はいかがでしょう。

(愛知県尾張建設事務所)

「品野」（上り・下り）のバス停については、歩道はありますでしょうか。

(事務局)

「品野」（上り・下り）については、歩道がない場所となり、道路側溝上へバス停を設置しております。

(愛知県尾張建設事務所)

「品野」(下り)と同じような道路状況になると思いますので、民地側に設置させてもらうなど安全対策をしていただいた方が良いかと思いますが、いかがでしょうか。

(事務局)

「品野」(上り・下り)の南側については、民地の空き地となりますので、今後、こちらについても危険な状況であれば検討させていただきます。

(議長)

市民の方にご協力いただいて道路空間以外の安全な場所にバス停を設置できるのであれば個人的にはより良いと思います。他はいかがでしょうか。

(国土交通省 中部運輸局 愛知運輸支局)

資料5-4-1についてです。移設時期は9月1日となっておりますが、手続き自体は、運行事業者様と調整でき次第、行っていただければと思います。

また、「バロー瀬戸西店」バス停についてですが、移設先付近が植栽ではなくポールになっております。イベント時に付近を使用するなどの問題はありませんでしょうか。また、人の往来があり、バスが付近に停車することで危険はありませんでしょうか。

(事務局)

移設先付近をイベント等で利用するという事は店側からも聞いておりません。

また、基本的な通行経路としては、バス停より北側にある横断歩道を通って駐車場と店を往復することになりますので、バス停が移設されることによる問題は発生しないと考えております。

(国土交通省 中部運輸局 愛知運輸支局)

今回の移設により国土交通省が移設をお願いしている危険なバス停が解消されることは良いことではありますが、中には横断歩道ではないところを通行する人もいるため、移設後に新たな危険が生じた場合にはまたご対応いただければと思います。

(議長)

他はいかがでしょうか。

この件について、特にご意見がなければ、原案のとおり可としてよろしいでしょうか。

採決〈全会一致で承認〉

- (6) 報告事項 市内基幹バスのバス停別乗降状況について
別紙資料6に従って事務局から説明

(質疑応答)

(議長)

ご説明いただきました内容について、何か皆様からご質問等がございましたらお受けしますが、いかがでしょうか。

(公募市民)

各路線の区間別の利用についてのご報告のうちしなの線の上品野～中品野区間のみ乗降者数が約55%とかなり減少されたように記載されておりますが、元々の乗降者数が少ないため大きく減少したように記載する必要はないように感じる。

(議長)

変化については、比率や実数など様々な見方があると思いますが、事務局からコメントをお願いします。

(事務局)

こちらの報告は毎年行うものとなるため、次回以降の作成の際に参考にさせていただきます。

(愛知県バス協会)

上品野付近については、瀬戸市のコミュニティバスが運行する際に便数の調整を行っていることもあったので、必ずしも地域の需要が減少したものではないと考えます。

他には、水野循環線・みずの坂線において瀬戸北総合高校前バス停の乗降者数が減少していましたが、例えばコロナ明けによって部活動の変化があったという話がありましたでしょうか。

(事務局)

部活動についても瀬戸北総合高校に確認しましたが、令和3年度と部活動の活動時間等に変化はないとのことでした。

(副議長)

利用者の傾向を確認するためには、乗車するバス停と降車するバス停に注目することとなりますが、乗車するバス停では、沿線の人口動向を確認するとより利用の予測がしやすくなります。降車するバス停については、学校や病院等の施設が主になるとは思いますが、例えば学校に定員割れが起きていないかなどそれらの施設の利用状況がどのようになっているか確認すると良いと思います。

都市計画では、公共交通の線に対し、土地や施設の利用状況といった点や面で見ることがあり、どのような要因で利用状況が変化しているかを今後は見極めていく必要があると感じています。

(議長)

様々なデータを複合的に見ることで細かく分析できると思います。他はいかがでしょう。

(名鉄バス株式会社)

赤津線のにじの丘学園の通学利用便においてラッシュ時の定時のダイヤ以外における臨時便や行事日における一斉下校便を運行することで児童・生徒が円滑に登下校できていると思いますので、この場を借りて感謝を申し上げます。

また、今後もご要望等ございましたらできる限り応えられたらと思いますので、引き続きよろしく願いいたします。

(議長)

一斉下校便については、事前にわかっていたら対応できるということによろしかったでしょうか。

(名鉄バス株式会社)

一斉下校便については、事前に行事日の予定を教えていただいておりますので、あらかじめ対応するよう予定を組んでいるものになります。

(議長)

とても良い関係だと思っておりますので、引き続きよろしく願いいたします。

- (7) 報告事項 ジブリパーク開園に伴うバス運行の実証実験結果について
別紙資料7に従って事務局（政策推進課）から説明

(質疑応答)

(議長)

ご説明いただきました内容について、何か皆様からご質問等ございましたらお受けしますが、いかがでしょうか。

ジブリパークについては、今年度2期オープンも控えているためまだまだ変わっていく可能性を秘めていると思うので、今後に期待したいと思います。

- (8) 報告事項 コミュニティバス品野3線におけるハーフデマンド運行の検討状況について
別紙資料8に従って事務局から説明

(質疑応答)

(議長)

ご説明いただきました内容について、何か皆様からご質問等ございましたらお受けしますが、いかがでしょうか。

(愛知県バス協会)

意欲的で良い取組だと感じておりますが、気になった点についてお伝えします。

本案は、毎日利用される人が多くないことから運行日を限定してサービスを向上させる点は有用な方法であるとは思いますが、

ただ、運賃が上がることにに対する抵抗感から外出の機会が減ってしまわないように注意してもらえればと思いますが、地元との話の中で気を付けていることはあるのでしょうか。

(事務局)

説明会を開催した際には、料金面に関する意見はありませんでしたが、説明会後に市の窓口へ来庁された方の中には、料金面に対して抵抗感を感じている方はいました。ただし、帰りの便が自宅付近までタクシーで帰れるということを理解しても

らうと、料金について納得されましたので、今のところ本案通り300円で考えております。

また、現在、バスではなくタクシーを利用して自宅まで帰宅しているものいるため、そのような方にはとても利用しやすいという意見もいただいております。

(副議長)

運行日の曜日の検討はどのようになっているのでしょうか。

(事務局)

週4日の際には、平日3日と土曜日の運行を検討しておりました。週5日の案では、通勤通学利用をされている方が若干名いることを把握しているため事務局としては、平日5日間の運行が望ましいと考えていますが、今後運行協議会と検討予定です。

(議長)

予定されていましたが議事はすべて終わりましたが、最後にその他として各委員様からご意見はありますでしょうか。

(9) その他

(公募市民)

瀬戸市は近隣市町村と比較して高齢化率は高く、地形的にも小高い山が多く、移動がしづらい環境にあります。そのような状況下で高齢者及び障がい者の移動手段の確保を公共交通のみでカバーすることには限界があると感じているため、公共交通では品野地域のーフデマンド運行の検討のように地域ごとの課題や現状に合わせて運行方法を検討していくことが今後は重要であると思います。

また、高齢者及び障がい者の移動手段の確保については、コミュニティバスだけでなく別の手段も含めて解決策を検討できたらということ意見をとして申し上げます。

(議長)

意見として扱わせていただきます。

その他意見もないようですので、事務局に進行をお返しいたします。

○ 閉会

(事務局)

磯部議長、ありがとうございました。

委員の皆様におかれましても、お忙しい中、長時間にわたりご議論いただきまして、誠にありがとうございました。

なお、第2回の会議の日程は12月頃の開催を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、以上をもちまして、令和5年度第1回瀬戸市地域公共交通会議を終了とさせていただきます。どうもありがとうございました。